

都道府県・ 政令指定都市名	福島県
------------------	-----

1 男女共同参画・女性問題に関する事務を総合的に所管する組織

局部課(室)名	生活環境部 県民環境総務領域 人権男女共生グループ
局部長名	(職名) 生活環境部長
課(室)長名	(職名) 参事
担当職員数	10 名 (専任 10 名、兼任 名)

2 国の「男女共同参画推進本部」に相当する本庁の連絡会議(推進体制)

名称	福島県男女共同参画行政連絡会議	
設置年月日 根拠	昭和 58 年 4 月 1 日 根拠: 福島県男女共同参画行政連絡会議設置要綱	
構成員 (役職名)	長: 生活環境部政策監 副: メンバー: 関係グループ参事 (計 33 名)	
活動状況	15年度 実績	会議 1回 ・福島県男女平等を実現し男女が個人として尊重される社会を形成するための男女共同参画の推進に関する条例 施行後の庁内における男女共同参画の推進状況について 男女共同参画に関する施策の意見申出制度の処理状況について
	16年度 予定	会議 2回 男女共同参画の施策の進捗状況と今後の取組みについて

3 男女共同参画に関する諮問機関、懇談会等(例えば国の旧「男女共同参画審議会」に相当するもの)

会議の名称	福島県男女共同参画審議会	
設置年月日	平成14年6月14日	
活動状況	15年度 実績	会議 2回 男女共同参画に関する施策の進捗状況について ふくしま男女共同参画プランの一部見直しについて
	16年度 予定	会議 2回 男女共同参画に関する施策の進捗状況について ふくしま男女共同参画プランの改定に伴う県民意識調査の実施について
構成員	20 名 (女性 10 名、男性 10 名)	

4 男女共同参画に関する計画

計画期間	平成 13 年 4 月 ~ 22 年 3 月		
名称	ふくしま男女共同参画プラン		
策定年月日	平成 13 年 2 月 20 日		
計画の進捗状況把握の有無	有 (公表 ・ 非公表 / 頻度 1 年に一度)	・ 無	
改定等の見直し	中間年度に期間前半の推進状況について検証し、必要に応じて見直しを行う (改定が予定されている場合、新計画の策定予定時期:平成 18 年 2 月)		

5 男女共同参画に関する条例

有の場合	名称	福島県男女平等を実現し男女が個人として尊重される社会を形成するための男女共同参画の推進に関する条例	
	議会の可決日	平成14年3月22日	
	公布日	平成14年3月26日	
	施行日	平成 14年 4月 1日 (一部平成 14年 7月 1日)	
無の場合	< 上程状況 検討状況 >		< 予定時期 >
	制定等について検討中	制定に向けて検討中	平成 年 月 議会 (月頃)
	その他検討中	あれば具体的に ()	
	特に検討していない		

調査時点コード：審議会等委員の調査時点を選び、各欄にご記入ください。
 「その他」を選択された場合にはこの欄の3に調査時点をご記入ください。

1	平成16年4月1日	2	平成16年5月1日	3	その他：平成 年 月 日
---	-----------	---	-----------	---	--------------

6 審議会等委員への女性の登用

目標値	22年度まで	33.3%	年度まで	%	年度まで	%
根拠	ふくしま男女共同参画プラン					
対象となる審議会等の範囲	各委員会、法律若しくはこれに基づく政令又は条例により設置されている審議会等付属機関					
目標の対象である審議会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数 (65)	うち女性委員を含む審議会等数 (64)		
			延総委員等数 (899)	延女性委員等数 (269)	女性比率 (29.9)	
うち法律または政令に基づく審議会等における登用状況	調査時点コード	1	審議会等数 (37)	うち女性委員を含む審議会等数 (36)		
			延総委員等数 (537)	延女性委員等数 (141)	女性比率 (26.3)	
法律又は政令により地方公共団体に置かなければならない審議会等における登用状況(*)	調査時点コード	1	審議会等数 (26)	うち女性委員を含む審議会等数 (26)		
			延総委員等数 (462)	延女性委員等数 (129)	女性比率 (27.9)	
地方自治法(第180条の5)に基づく委員会等における登用状況	調査時点コード	1	委員会等数 (9)	うち女性委員を含む審議会等数 (8)		
			延総委員等数 (69)	延女性委員等数 (9)	女性比率 (13.0)	
目標値以外の目標設定	特になし					
女性登用方針	人材名簿作成の有無	有 (公表 非公表) ・ 無 ・ 作成予定有				
	人材名簿が有る場合	掲載人数	764 人 (平成 16 年 4 月現在)			
		媒体	電子ファイル(エクセル)			
		対応OS	windows			
その他	人材育成事業の実施の有無	有 ・ 無				
	委員の公募	有 ・ 無				
	その他	(審議会等への女性の登用促進要綱) を定めている)				

(*) 平成15年12月時点で法律または政令により設置義務がある審議会のうち内閣府が把握したものを(参照：別表1(都道府県)、別表2(政令指定都市))

調査時点コード：管理職の調査時点を選び、下欄にご記入ください。
 「その他」を選択された場合にはこの欄の3に調査時点をご記入ください。

1	平成16年4月1日	2	平成16年5月1日	3	その他：平成 年 月 日
---	-----------	---	-----------	---	--------------

7 女性公務員の採用 登用状況

(1) 管理職の在職状況

					調査時点コード	1	
		管理職総数 (人) (A)	うち女性管理職数 (人) (B)=(C+D+E)	女性の割合 (%) (B/A)	女性管理職の内訳		
					部長クラス (人) (C)	次長クラス (人) (D)	課長クラス (人) (E)
本庁	計	524	13	2.5	1	1	11
	うち一般行政職	457	13	2.8	1	1	11
支庁・地方事務所	計	513	8	1.6	0	0	8
	うち一般行政職	406	4	1.0	0	0	4
再掲	警察本部	119	0	0.0	0	0	0

(2) 女性公務員の採用状況

平成15年4月1日～平成16年3月31日

	総数 (人)	うち女性数 (人)	女性比率 (%)
上級	184	49	26.6
うち 警察本部	94	24	25.5
中級	86	75	87.2
うち 警察本部	0	0	
初級	56	15	26.8
うち 警察本部	43	10	23.3

(3) 女性登用 採用のための措置

*実施しているものに を付してください。

1. 女性の採用目標の設定	具体的目標 ()
2. 女性の管理職登用目標の設定	具体的目標 (平成22年度までに2.6%)
3. 女性職員の採用・登用に関する計画の策定	
4. 上記3の計画の策定、実施に実質的に関与する「女性職員の採用・登用拡大担当者」の設置	
5. 女性職員の採用・登用の状況や上記3の計画の進捗状況等に関する庁内の意見交換等の場の設置	
6. その他 (内容： 県庁男女共同参画推進行動計画(仮称)策定中)	

8 男女共同参画・女性のための総合的な施設の設置

名 称	福島県 男女共生センター(女と男の未来館)	(単独施設 <input type="checkbox"/> ・ 複合施設 <input type="checkbox"/>)
設置年月日	平成13年1月18日	
管理・運営主体	都道府県・政令指定都市 (<input type="checkbox"/>) 財団・公社(名称: (財)福島県青少年育成・男女共生推進機構)	
職員数	常勤 15 人、非常勤 12 人	予算額 平成16年度 281,900 千円
主な事業	*実施しているものに を付し、主な事項を記入してください。 <input type="checkbox"/> 1. 広報啓発 (主な事項: 広報誌発行、シンポジウム開催、展示等) <input type="checkbox"/> 2. 調査研究 (主な事項: 自主研究、公募研究、図書館運営) <input type="checkbox"/> 3. 相談事業 (主な事項: 一般相談、医師・弁護士等による専門相談、女性就業援助相談) <input type="checkbox"/> 4. 交流促進 (主な事項: 未来館フェスティバル、未来館県民グループチャレンジ事業) <input type="checkbox"/> 5. 国際交流 (主な事項: 県民の翼事業、男女共同参画グローバル政策対話) <input type="checkbox"/> 6. 健康増進 (主な事項:) <input type="checkbox"/> 7. その他 (主な事項: 各種研修事業)	

9 男女共同参画・女性関係事業を推進するための基金・財団の設立(施設の管理運営の実施団体を含む。)

名 称	(財)福島県青少年育成・男女共生推進機構	
設置年月日	平成12年4月1日	出資者 福島県 県内各市町村ほか
主な事業	*実施しているものに を付し、2の場合は主な事項を、3は名称を記入してください。 <input type="checkbox"/> 1. 男女共同参画・女性のための施設運営(前項に該当する施設) <input type="checkbox"/> 2. 直接事業(施設運営に該当するものを除く。) <input type="checkbox"/> ? 広報啓発(主な事項:) <input type="checkbox"/> ? 調査研究(主な事項:) <input type="checkbox"/> ? 相談事業(主な事項:) <input type="checkbox"/> ? 交流促進(主な事項:) <input type="checkbox"/> ? 国際交流(主な事項:) <input type="checkbox"/> ? 健康増進(主な事項:) <input type="checkbox"/> ? その他(主な事項: 未来館エグゼクティブセミナー、未来館パソコン講座) <input type="checkbox"/> 3. 市町村・民間団体補助事業(名称:)	

10 民間団体(女性団体等)との連携

? 地方公共団体と民間団体(女性団体等)との連携

*該当するものに を付してください。
<input type="checkbox"/> 1. 民間団体の組織化(?へ)
<input type="checkbox"/> 2. 地方公共団体と民間団体との意見交換会の開催
<input type="checkbox"/> 3. 地方公共団体からの民間団体への各種情報提供
<input type="checkbox"/> 4. 地方公共団体から民間団体への助成金の交付
<input type="checkbox"/> 5. 地方公共団体から民間団体への事業委託
<input type="checkbox"/> 6. 地方公共団体と民間団体との共催事業の開催
<input type="checkbox"/> 7. その他(主な事項:)

? 民間団体(女性団体等)のネットワーク

各種女性団体 連絡協議会等 の結成の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	名称等 福島県女性団体連絡協議会	加盟団体数 28
		会員数 約5万人	
ネットワーク活動	*実施しているものに を付してください。 <input type="checkbox"/> 1. 定例会議(情報交換会等)の開催 <input type="checkbox"/> 2. 機関誌の発行 <input type="checkbox"/> 3. 広報啓発パンフレット作成 <input type="checkbox"/> 4. その他(内容:男女共生のつどい(共催事業))		
動向	最近の民間団体の動向について記入してください。 女性団体連絡協議会に所属していないグループ、NPO等の活動が活発になってきており、男女共同参画社会を形成する活動も多様化している。民間等の情報交換や、今後のリーダー育成なども視野に入れ協議会のあり方を検討する必要がある。		

11 市町村との連携及び市町村への指導・助言状況

*該当するものに をつけてください。	
<input type="checkbox"/> 1. 担当者連絡会議を開催	
<input type="checkbox"/> 2. 市町村職員研修会を開催	
<input type="checkbox"/> 3. 市町村アドバイザー養成講座等の開催	
<input type="checkbox"/> 4. 関係情報の収集提供	
<input type="checkbox"/> 5. 審議会等女性登用の働きかけ	
<input type="checkbox"/> 6. 補助金等の交付	名称 <input type="text"/> 交付先: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 7. その他(内容: 市町村男女共同参画計画、条例、施策に関する研究会の実施)	

12 広報・啓発、調査等

? 男女共同参画・女性に関する広報・啓発、調査等 (平成16年度予定)

年次報告・広報誌等	福島県男女共同参画推進状況年次報告書、未来館 NEWS		
テレビ、ラジオの番組提供等	県政広報番組等で随時提供		
インターネットホームページ	有	アドレス	http://www.pref.fukushima.jp/danjo
		情報内容	福島県男女平等を実現し男女が個人として尊重される社会を形成するための男女共同参画の推進に関する条例、県政広報物表現ガイドライン、ふくしま男女共同参画プラン、福島県男女共同参画高校生副読本、データ資料集、リンク集、意見コーナー
		情報発信元	福島県
	無	今後開設する予定	有 ・ 無
		(予定有りの場合) 開設予定時期	
その他の広報・啓発活動	随時		
調査・研究	男女共同参画、ドメスティック・バイオレンスに関する県民意識調査 男女共生センター自主研究、専門研究、公募研究		

? 男女共同参画の視点からの広報・出版物のガイドライン等の策定状況

名 称	県政広報物表現ガイドライン		
策定年月日	平成	14 年 3 月	日
(現在策定していない場合) 今後の策定予定の有無	有 ・ 無		

13 職員研修の実績状況

(1) 男女共同参画・女性問題に関する職員研修の実施 *実施しているものに をつけてください。

- ? 職員向け男女共同参画・女性問題についての講演会、研修会等を実施
- ? 一般職員研修に、男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れ
- ? 国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修に職員を派遣

② 女性職員の研修受講への配慮 *実施しているものに をつけてください。

- ? 女性職員を対象とした能力開発や管理職登用のための研修を実施
- ? 研修受講職員の男女比を配慮
- ? その他 (内容 _____)

実施している男女共同参画・女性問題に関する職員研修の具体的内容 *記載欄が足りない場合は増やしてご記入ください。

研修名	対象者	人数	回数及び時間	内容	備考
? 職員向け男女共同参画・女性問題についての講演会、研修会等					
人権の尊重をテーマとした小集団活動	警察職員	1140 人	19所属	さわやか行政サービス運動期間中、人権に対する小集団活動を実施し、意識の高揚を図る	
		人			
		人			
? 男女共同参画・女性問題の講義等を組み入れた一般職員研修					
初任者研修	教諭(初任者)	285 人	1回(30分)	男女共同参画の基本的な考え	小・中・高
経験者研修	教諭(5年経験者)	322 人	1回(30分)	男女共同参画の基本的な考え	小・中・高
経験者研修	教諭(10年経験者)	390 人	1回(30分)	ジェンダーフリーの教育の視点	小・中・高
新任校長研修会	校長(新任者)	112 人	1回(30分)	ジェンダーフリーの教育の視点	小 中 県立
新任教頭研修会	教頭(新任者)	118 人	1回(30分)	男女共同参画における学校	小 中 県立
校長研修会	校長(3年経験者)	82 人	1回(30分)	男女共同参画における学校	小 中
初任者研修	新任者	31 人	1回(90分)	男女共同参画社会のあり方	盲・聾・養護学校
ステップ2研修	大卒採用後8年目等	96 人	10回(60分又は90分)	「男女共同参画」に関する研修	
		人			
		人			
		人			
		人			
? 職員を派遣している国、民間等が行う男女共同参画・女性問題に関する研修					
内閣府主催「基礎研修」		1 人	9時間	男女共同参画について	内閣府主催
内閣府主催「相談研修」		1 人	9時間	男女共同参画について	内閣府主催
内閣府主催「政策研修」		1 人	9時間	男女共同参画について	内閣府主催
		人			
		人			
		人			

14 担当局(部)課(室)所管の平成16年度男女共同参画・女性関係予算

事 項	15年度予算 (千円)		16年度予算 (千円)		備考
		構成比(%)		構成比(%)	
関係予算総額(施設整備費を除く)	330,249	100.0	308,550	100.0	
上記関係予算が一般予算総額に占める割合		0.035%		0.034%	
男女共同参画・女性のための施設整備費	0		0		
関係予算(施設整備費を除く)の内訳					
*記入欄が足りない場合は適宜増やしてご記入ください。ただし、その際は自動計算によって計算される小計欄・合計欄の計算式を調整願います。(計算式は消さないでください)					
1. 委員会・懇話会等の開催経費 (内訳)	1,729	0.5	1,585	0.5	
・福島県男女共同参画推進連携会議	853	0.3	727	0.2	
・ドメスティック・バイオレンス 対策連携会議	241	0.1	229	0.1	
・福島県男女共同参画審議会	635	0.2	629	0.2	
2. 男女共同参画に関する条例・計画等の作成・ 改定経費 (内訳)	0	0.0	4,187	1.4	
・男女共同参画・DVに関する県民 意識調査(新規)	0		4,187	1.4	
3. フォーラム・シンポジウム等の開催経費 (内訳)	0	0.0	0	0.0	
4. 人材育成研修・啓発講座等の実施経費 (内訳)	1,190	0.4	1,612	0.5	
・男女共同参画推進事業者セミナー	1,190	0.4	542	0.2	
・男女共同参画トップセミナー(新規)	0		773	0.3	
・女性に対する暴力に関する法律 講座(新規)	0		297	0.1	
5. 市町村・民間団体補助 (内訳)	1,028	0.3	840	0.3	
・福島県男女共生のつどい	240	0.1	240	0.1	
・市町村男女共同参画研究会	788	0.2	600	0.2	
6. 苦情処理、女性に関する相談に係る経費 (内訳)	1,314	0.4	1,205	0.4	
・男女共同参画推進員の設置	1,314	0.4	1,205	0.4	
7. 広報活動経費 (内訳)	0	0.0	869	0.3	
・男女間の暴力に関する調査研究 パンフレット作成			869	0.3	
8. 国際交流・海外派遣事業経費 (内訳)	0	0.0	0	0.0	
9. 男女共同参画・女性のための施設管理運営 経費 (内訳)	317,076	96.0	292,506	94.8	
・管理運営	258,775	78.4	245,857	79.7	
・情報・調査研究事業	16,710	5.1	15,312	5.0	
・相談事業	6,865	2.1	2,085	0.7	
・交流関連事業	6,433	1.9	4,847	1.6	
・県民の翼 男女共同参画研修コース	2,926	0.9	2,871	0.9	
・普及啓発 研修事業	6,526	2.0	10,783	3.5	
・図書整備事業	14,794	4.5	9,960	3.2	
・うつくしま未来を拓く公募レポート	4,047	1.2	791	0.3	
10. その他 (内訳)	7,912	2.4	5,746	1.9	
・企業からの男女共同参画状況報告	1,100	0.3	0		
・男女共同参画年次報告	200	0.1	122	0.0	
・企画事務費	1,367	0.4	1,939	0.6	
・男女平等教育ステップアップ事業	5,245	1.6	3,685	1.2	

15 平成16年度実施予定行事

*実施予定のあるものに つけてください。

- | |
|------------------------|
| 1.委員会 懇話会の開催 |
| 2.フォーラム・シンポジウムの開催 |
| 3.人材育成研修・啓発講座 |
| 4.国際交流 海外派遣事業の実施 |
| 5.男女共同参画週間、暴力をなくす運動の実施 |
| 6.その他の行事 |

実施予定行事の内容 上記の行事内容をご記入ください。欄が足りない場合には適宜増やしてご記入ください。			
名称	時期	参加者数	行事内容等
1.委員会 懇話会			
・男女共同参画推進連携会議	8月(全体)、10月～(方部)	35名 7方部	各階各層を代表する構成員により男女共同参画の普及啓発、連携方策について協議する
・男女共同参画審議会	6月、10月	20	条例に規定された事項の審議、知事の諮問に応じて調査審議
・ドメスティック・バイオレンス対策連携会議	10月、2月	27機関	DV防止 対策に関し、民間、警察、行政など関係機関の有機的な連携を図る
2.フォーラム・シンポジウム			
・男女共生講演会	6月13日	300	「一人一人が生き生きと本当の自分を生きるために」講師 中森 じゅあん
・未来館トークサロン	年3回	未定	男女共生センター館長 下村満子と意見交換
・未来館フェスティバル	2月(予定)	約1000	館長対談、パネルディスカッション、ワークショップ、県企画ほか
・うつくしま未来を拓く男女共生公募レポート	10月(予定)	400	公募研究に携わった研究者による研究成果の報告、シンポジウム等
3.人材育成研修・啓発講座			
・事業者セミナー	7月～		事業者が構成する団体が開催する行事に講師を派遣し、男女共同参画に関する講習を行う
・男女共同参画基礎講座	5月	各30	ジェンダーに気づくための基礎的な講座
・男女共同参画テーマ別講座	7月～	各30	労働、教育、家庭、地域におけるジェンダーなどテーマ別の講座
・地域リーダー養成講座	5月～ (基礎年3回、上級年2回)	基礎(各50) 上級(各30)	男女共同参画を推進する地域リーダーの養成や人材ネットワークの構築
・女性起業家養成講座	1月～	25	女性を対象に起業のための基礎知識や具体例を学ぶ
・アサーティブトレーニング講座	10月	20	自己表現を身につけるためのアサーティブトレーニングを学ぶ
・新時代のライフスタイル講座	11月	20	ジェンダーの視点に立った家庭のあり方や生き方について考える
・ボランティア養成講座	4月	50	男女共生センターボランティアの養成
・ボランティア養成分野別実践講座	5月～(年2回)	各30	男女共生センター情報誌作成、保育ボランティアに対するレベルアップ講座
・女性就業サポート事業	4月～		パソコン、経理事務の技能講習会
・多様なライフスタイルを考えるためのセミナー	7月	100	就職、進学をひかえた高校生に、習慣にとらわれず主体的に進路を選択する能力、態度を身につける
・男女共同参画推進トップセミナー	9月		男女共同参画社会の実現には、既存の制度、慣行の見直が必要であり、各分野の責任者へ直接訴えることがより有効であるため
4.国際交流 海外派遣事業			
・県民の翼 男女共生参画コース	10月～	6名	女性リーダーコース4名 自主企画コース2名(2グループ)
・男女共同参画グローバル政策対話	12月5日		日本と共通の課題をもつ世界各国の男女共同参画における有識者との対話から、意識啓発を図る
5.男女共同参画週間、暴力をなくす運動			
・男女共生のつどい	6月26日	400	講演、パネルディスカッション
・女性に対する暴力に関する法律講座		約400	DV等の正しい知識を得、無知及び性差別による加害行為、二次被害を防ぐ
6.その他			
・市町村男女共同参画推進研究会	7月～	延べ90	計画策定、条例制定、施策推進に関する研究会
・未来館グループチャレンジ事業	8月～		企画力養成講座の開催、チャレンジ公募実践事業
・企業表彰	3月		女性登用を積極的に進めている企業を表彰